

令和5年度 第3回 藤沢市立鵜沼中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年 10月 27日 (金) 9時半～

場 所 鵜沼中学校パソコン室 本館3階

出席委員	<p>渡邊 美子 (会長・鵜沼ふれあいトライアングル会長)</p> <p>小路 成明 (副会長・鵜沼中学校 校長)</p> <p>和田 まや子 (鵜沼地区青少年育成協力会委員)</p> <p>山口 秀俊 (鵜沼市民センター長)</p> <p>鈴木 茂和 (元鵜沼中学校校長)</p> <p>長谷川 友子 (元鵜沼中学校 PTA 副会長)</p> <p>加瀬 晶 (鵜沼中学校 教頭)</p> <p>足達 航 (鵜沼中学校 教務主任) 以上8名</p>
次第	<p>1. 前回第2回の議事録 内容確認</p> <p>2. 議題について検討 議題 「学校運営や子どもを取り巻く状況・課題把握・解決策について」 ＊不登校や登校しても教室に入れない生徒のための支援ルームが開設され運用開始 ＊支援ルームは、週4日(火・水・木・金曜日) 10時～12時の間オープン ＊教職員のほかに、児童支援員の方、スクールサポーターの方々の見守り ＊まだ周知不足は否めない。生徒個人の要望は様々で、全てのことに対応するのは難しい面もある ＊必要な備品(パーティション、学習に関するもの・リラックス用の知的玩具等)が足りない現状がある</p> <p>3. 支援ルーム(鵜ルーム)見学(10:00～10:30)南棟1階 ＊当日は利用者なし。委員が支援ルーム内に立ち入り、設備等を視察。</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会(11時15分)</p>

2. について

加瀬委員・・・後期の始まりに合わせて支援ルームが開設、運用開始することができた。不登校・学校に行き渋りの生徒を教室に戻すことを目的とするのではなく、家から出て過ごせる居場所を作ろうというのが第一義。

要支援生徒と支援者との関係性を構築した上で学習に向かうなど段階的にやっていきたい。予定していたよりも支援者の増強ができ、オープンできる日が多くなった。

生徒個々に支援の内容、本人の要望が異なってくるので、それらにすべて対応していくのは難しい。できることから少しずつやっていけたら。

渡邊会長・・・実際に支援ルームを拝見して、現状把握に努めたい。

3. について

加瀬委員・・・支援ルームの開設にあたり、支援担当の教員の思いも様々である。

生徒の状況により環境のすみ分けも必要になってくる。現状、教室然としている支援ルームを今あるもので何とかしようとしていたが…壁紙を貼り替える等のアイデアをいただけたので、また変わっていくかもしれない。

鈴木委員・・・生徒の目的によって、部屋の仕様も変わってくる。どこを狙うのか。

その生徒の成長段階でも変わってくるが。

渡邊会長・・・三者連携（ふれあいトライアングル）の方からも何かできることがあれば。

山口委員・・・市教委・学校施設課に協力を仰ぐのであれば、早目がよいと思う。

和田委員・・・今までは日中、学校に来られなかった生徒が学校にきて居場所があるというのは素晴らしいことだと。

小路副会長・・・学校サイドとしては支援会議等で必要なことを精査して、皆さんにご説明、ご協力をお願いすることがあろうかと思う。

4. について（学校の近況報告）

小路副会長・・・前日に開催の予定していた本会が、急な日程の変更になり申し訳なかった。10月6日に計画をしていた合唱コンクールだが、ちょうどその頃からインフルエンザに罹患する生徒が増えてきてしまい、その前の週から学年閉鎖・学級閉鎖もあり、やはりそのタイミングでの合唱コンクールの開催は難しく延期の判断をした。生徒たちはまだ本校入学後に、きちんとした形式で合唱コンクールができていなかったが、昨日市民会館が空いているということが分かり、急遽予約の調整を教育委員会の方をお願いし開催の運びとなった。午前、午後と昼食も挟みつつ、コロナ禍前とほぼ同様のスケジュールでの合唱コンクールは本当に、それぞれの学年、クラスで素晴らしい合唱を披露してくれた。特に三年生の声量、ハーモニー、共に目を見張るような発表で甲乙付け難く、どのクラスが最優秀になってもおかしくないほどの仕上がりだった。合唱コンクール実行委員長の言葉の中でも【RESTART】コロナ禍後の新たな文化を作っていきたい、そんな合唱祭にしたい、との思いを三年生が強く持って臨んだというようなことが感じられた。

学校は後期授業が始まったが、今後も本校の活動にご理解ご協力を賜りたい。

以上

次回開催日程 2023年12月14日（木）9：30～

場 所 鶴沼中学校パソコン室 本館3階